

焼岳の地殻変動*

Crustal Deformations of Yakedake Volcano

国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan

第1図は、焼岳周辺のGNSS連続観測結果である。

第1図上段に基線の配置を示した。

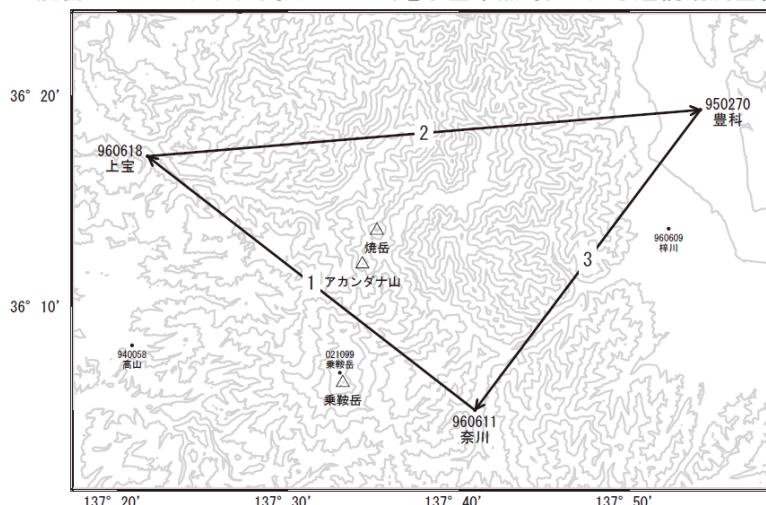
第1図下段は、第1図上段に示した基線の基線長変化グラフであり、左列は最近約5年間（2013年1月～2017年12月）の時系列、右列は最近約1年間（2016年12月～2017年12月）の時系列である。GNSS連続観測結果では特段の変化は見られない。

第2図は、「だいち2号」のSAR干渉解析結果である。ノイズレベルを超える変動は見られない。

謝辞

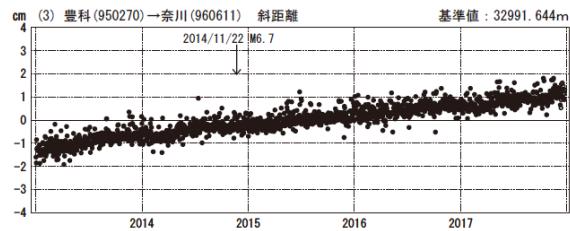
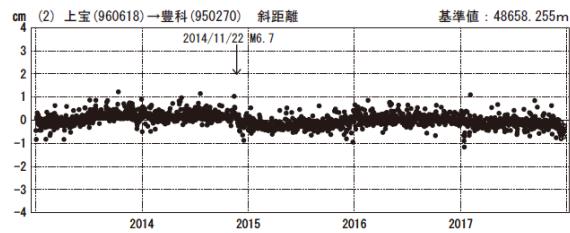
ここで使用した「だいち2号」の原初データの所有権は、JAXAにあります。これらのデータは、「だいち2号」に関する国土地理院とJAXAの間の協定に基づき提供されました。

焼岳・アカンダナ山周辺GEONET(電子基準点等)による連続観測基線図



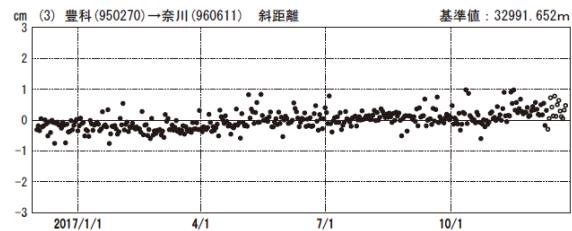
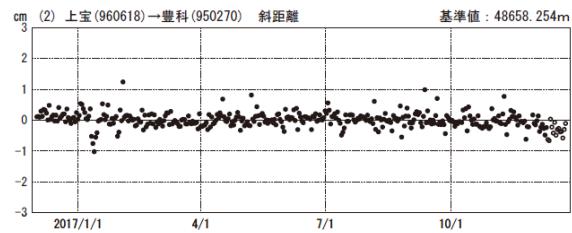
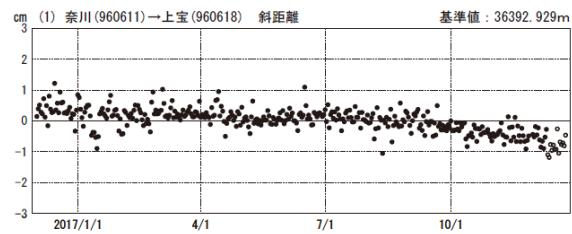
基線変化グラフ

期間: 2013/01/01～2017/12/23 JST



基線変化グラフ

期間: 2016/12/01～2017/12/23 JST



●---[F3:最終解] ○---[R3:速報解]

国土地理院

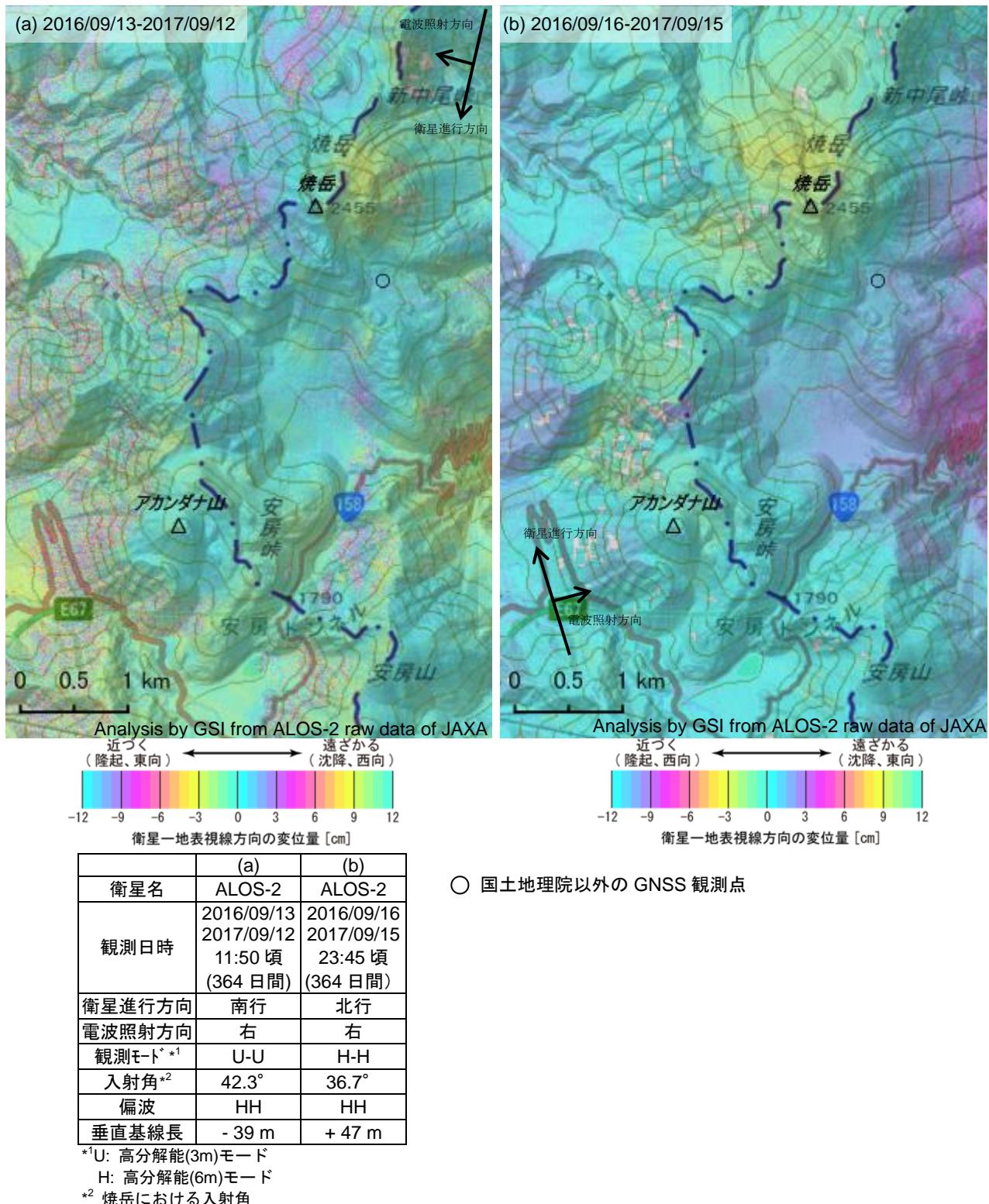
※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

第1図 焼岳周辺のGNSS連続観測基線図（上段）、基線変化グラフ（下段）

Fig.1 (upper) Site location map of the GNSS continuous observation network;

(lower) Time series of baseline length;

(left) from January 2013 to December 2017, (right) from December 2016 to December 2017.



背景：地理院地図 標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

第2図 「だいち2号」PALSAR-2による焼岳周辺地域の解析結果

Fig.2 (Ascending and/or Descending) SAR Interferogram of ALOS-2 PALSAR-2.